



射水市立東明小学校 学校だより

東明っ子

第17号

令和4年12月14日



バスケットで富山よ熱くなれ！！

富山銀行PRESENTS「夢作文大募集19」学校賞をいただき、5年生対象に「富山グラウジーズバスケットボール教室」が11月22日（火）に開催されました。

当日はプロバスケットボールBリーグのシーズン中にもかかわらず、小島勇二コーチと水戸健史選手、上田隼輔選手の3名とスタッフの方々が来校されました。

最初に小島コーチが①挑戦すること、②最後までやり抜くこと、③楽しむこと を今日のバスケット教室のテーマとして、子供たちに熱く語られました。そして、実際に子供たちは一人1個ボールをもち、小島コーチの指導の下、バスケットボール教室が始まりました。

ボールを扱う基本の練習から行いました。ボールを真上に上げてキャッチする技では、水戸選手が体育館の天井にぶつかりそうなほど高く上げて見事にキャッチし、大きな拍手が沸き起こりました。次にドリブルです。選手が上げている手を見て、同じ向きでドリブルをするリアクションをしました（写真1）。ボールから目を離してドリブルするのは難しかったようです。次はシュートです。レイアップシュートのコツを習いました。子供たちは1・2・3のリズムで上手にシュートをしていました（写真2）。上田選手が回転しながらバックダンクを披露してくださり、みんなはびっくりしていました。そして、最後は5対2のミニゲーム（写真3）です。善戦むなしくプロには歯が立ちませんでした。教室が終わり、選手の夢の話です。上田選手は「小さいころからシュートを決めることが楽しかった。そしていつしかプロになりたいという「夢をもち、叶えることができた」、水戸選手は「バスケットボールの選手になりたいとあきらめずに夢を追ってきたから叶った。今もまだまだうまくなりしたい」と話されました。子供たちは目を輝かせて聞いていました。「本物と出会う体験」は本当に素晴らしいものだと思いました。



写真1 ドリブル



写真2 シュート



写真3 選手とミニゲーム

学校を盛り上げる活動紹介！



【あいさつ運動】 【ぞうきん大会】

11月28日（月）～12月2日（金）の一週間、運営委員会が「あいさつ運動」を行いました。素敵な挨拶として、①会釈、②相手に届く声、③目をつないでという3つの条件を全校に伝えました。朝に児童玄関、昼休みに2階渡り廊下等の場所で、挨拶を呼びかけました。上手な挨拶ができた子供はカードがもらえ、5枚集めると「あいさつ名人」の賞状が授与されました。

自分から進んで、そして相手の目を見て、挨拶することができる子供が増えました。全校の子供たちができるようになるといいですね。



美化委員会が、雑巾で楽しく学校をきれいにしようという目的で「ぞうきん大会」開催しました。

低・中・高学年別に体育館に集まって、一番早く床の雑巾がけができるのは誰かという学年別の個人戦が行われました。学級ごとに予選が行われ、勝ち上がった5名+5名の計10名で決勝が行われました。各学年の1～3位を決めて、賞状を渡しました。先生の部もあり、大いに盛り上がりました。この調子で校舎をきれいに雑巾がけしてほしいものですね。



大学の先生に教えてもらいました



富山国際大学子ども育成部の金子泰子先生を迎えて、「体育授業支援」事業として3・4年生向けに体育科の授業を12月9日（金）・16日（金）の2日間行いました。9日は、金子先生と大学生5名に来校していただき、「マット運動」に取り組みました。

金子先生から「今日のテーマは【できる】を増やそうです。いろいろなコーナーを用意しました。どんどん挑戦して、できる技を増やしましょう」と話されました。始めに準備体操をして、技の紹介がありました。大学生先生の足の先まで伸びたきれいな開脚前転や見たこともない頭はね起きなどの技の披露に大きな拍手が沸き起こりました。早速、自分の好きなコーナーに行き、技への挑戦です。いろいろな技に楽しそうに挑戦する子供たちの姿が見られました。大学生先生の一生懸命なアドバイスに応え、子供たちは「上手に教えてもらって、できるようになりました」「頭はね起きができてよかったです」と嬉しそうに感想を述べました。貴重な体験ができた、充実した体育科の授業になりました。



(校長 阿尾昌樹)